

平成 26 年度 第 1 回簡易耐震化工法検討委員会WG 会議 議事録 (案)

日 時 : 2014 年 4 月 22 日 13 : 00 ~ 15 : 00

場 所 : 徳島県木材利用創造センター

出席者 : 宮本、佐藤、小杉、藤井、後藤、日下、中飯、松田、内野

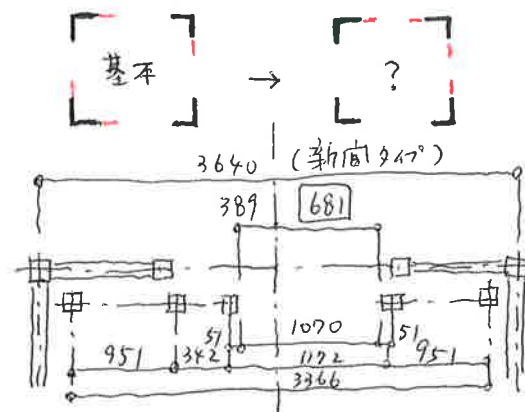
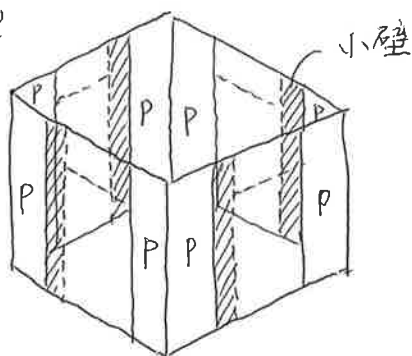
議事録 : 内野

【前回の議事録確認】

【シェルター】

- ・ 必要耐力は、シェルターを設置する部屋のサイズ ではなくシェルターそのもののサイズから算出している。
- ・ 1.5 は、地震時は静的な加力ではなく衝撃が加わることを考慮した割り増し係数。
- ・ 壁単体試験の試験結果は 34.89 k N。四倍すると 139.56 k N > 133.5 k N (必要耐力)
- ・ 基本寸法の壁単体試験の結果を四倍したものと、実大試験の結果はほぼ重なる。実大試験は一体だけであることから、余裕を見て、基本寸法壁二面に、一面ずつ小壁を設置することとする。
- ・ 片側に小壁があると、実際に開口できる幅は最小で 681mm。現場では、シェルターを寄せて開口を大きく取る。

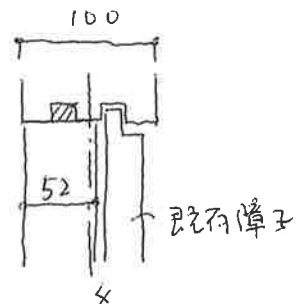
○ 基本型



- ・ XY 二面に小壁を二面ずつ設置すれば、残りの XY 面の小壁は省略できるか、検討する。
- ・ 設置室の床組みを解体し、束石 + 束 + 大引き + 合板で一度床面をつくり、その上に床梁を置いてシェルターを組み立てる。固定せず、すべることが前提。床面は既存部分と揃える。
- ・ たれ壁の高さの設定も含めて、8 帖用シェルターの最終図を作成する (フレッセ)。

【耐震建具】

- ・ 薄型耐震障子へ。
- ・ 上框 : 60、下框 : 90、縦 : 50、見込み : 52、組子 : 40
- ・ アクリル (4mm) を入れた上部の隙間は、堅木で埋める。
- ・ 二枚ホソ差し。
- ・ 框の勝ち負け、四隅補強など、検討する。
- ・ 次回は富永建具さんにも参加していただく。



見込み寸法

【その他】

- ・ 次回 5/8 (木) 13 : 30 ~